Ⅳ　社会教育の推進

1 社会教育に関する事務の権限及び執行

（１） 大田区教育に関する事務の職務権限の特例

平成 27 年度より、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 23 条の規定に基づき、教育に関する事務のうち、スポーツに関すること（学校教育における体育に関することを除く）、文化に関すること（文化財の保護に関することを除く）は、区長が管理し、及び執行することとした。これにより、スポーツ推進事業及び大田区文化祭は、観光・国際都市部に移管した。

（根拠）地方教育行政の組織及び運営に関する法律
　　　　大田区教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例

（２）教育委員会の権限に属する事務の補助執行

平成 27 年度より、青少年を取り巻く諸課題に対して総合的に取り組むため、また地域力のさらなる活用により生涯学習施策の充実を図るため、青少年育成及び生涯学習関連事業を区長の職務権限として地域力推進部に移管したが、社会教育法等に基づく成人教育、青少年教育、社会教育関係団体の支援に関する事務は、教育委員会の権限に属する事務として地域力推進部に補助執行させるものとする。具体的には、区民大学、日本語読み書き教室、生涯学習リーダー等の育成、青少年リーダー講習会、社会教育関係団体の支援である。

（根拠）社会教育法
　　　　地方教育行政の組織及び運営に関する法律

社会教育・社会体育事業の移管・執行先（平成 27 年 4 月 1 日付）

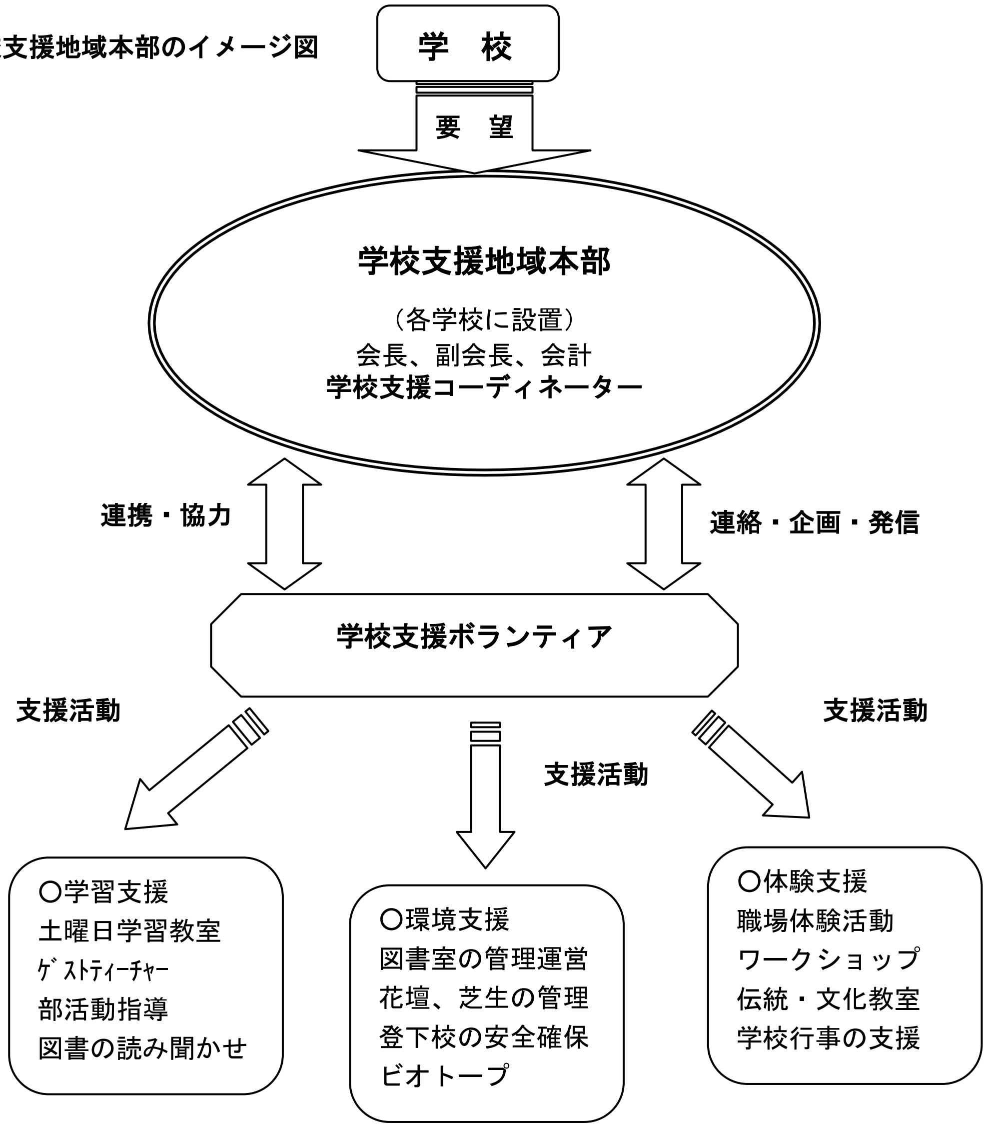
事業名	移管先
生涯学習情報の提供・生涯学習相談	地域力推進部 地域力推進課
生涯学習リーダーの育成（講座・活動支援）	
地域学習リーダー講座	
団体活動ステップアップ講座	
区民による区民のための連携講座	
区民大学	
日本語読み書き教室	
社会教育関係団体・少年育成団体	
生活学校	
ユネスコ活動	
青少年健全育成	
平和島ユースセンター	
心身障がい児交流促進事業	福祉部 障がい者総合サポートセンター
若草青年学級	
コスモス青年学級	
文化祭	観光・国際都市部 国際都市・多文化共生推進課
大田区百景	
郷土博物館	
スポーツ推進事業	
体育施設（大田区総合体育館・大森スポーツセンター）	

２ 教育地域力の推進

（１） 学校支援地域本部

学校の教育活動の一層の充実のため、地域全体で学校を支援する仕組みとして学校支援地域本部（スクールサポートおおた）を設置した（平成 25 年度に全校設置を実現した）。学校支援地域本部には学校支援コーディネーターを置き、ボランティアとの連絡調整などを行う。補習教室等の学習支援、図書室の整理等の環境支援、地域の伝統・文化を学ぶ等の体験支援等、さまざまな活動を通して学校を支援する。

① 学校支援地域本部のイメージ図



② 実施成果発表会及び意見交換会の実施

・目的　学校支援コーディネーターが、学校支援地域本部事業の事例や取組を発表することで、他の本部での取組の参考となり活動の発展が図られる。また、意見交換を行うことで個々の本部で抱えている問題の解決の契機となる。

・実績　平成 26 年度

事例発表校　小学校 2 校・中学校 1 校（池雪小、志茂田小、出雲中）

参加者　　　66 人

③　学校支援コーディネーター及び図書館ボランティアのスキルアップ

・目的　学校支援コーディネーター及び図書ボランティアが相互に図書館を訪問し、図書の整理の仕方や運営についての意見交換を実施し、ノウハウを学びあう。

・実績　訪問先　大森第五小学校、萩中小学校、田園調布中学校

参加者　3 日間で　延べ 36 人

④　学校支援コーディネーター研修の開催

・目的　学校支援地域本部事業の充実や、本部事業を担う、コーディネーターの役割について理解をすすめるため、学校支援コーディネーターを対象に研修を行う。

・実績　平成 26 年度

テーマ　・「学校支援コーディネーターの役割について」

・　開催日　3 月 11 日　　　参加者　27 人

⑤　学校支援ボランティア登録と学校支援地域本部との連携

・目的　教育委員会に登録されている、さまざまな知識や技術を持つ地域の人材を、学校支援地域本部でも活用できるよう、各本部に情報提供を行い、活動の多様化を図っていく。

・実績　登録ボランティア数　17 人

（２）　家庭・地域教育力の向上

①　家庭・地域教育力向上支援事業

・目　的　　家庭や地域の子どもに対する教育力を向上させるため、子育てに関わる様々な課題についての話し合いや講演会などの事業を支援する。

・対　象　　5 名以上の構成員を有し半数以上が区内在住・在勤の団体で、かつ家庭や地域で子どもに対する教育力を向上させるための活動を実施し、支援を希望する団体。

［根拠：大田区家庭・地域教育力向上支援事業実施要綱］

・実　績　　平成 26 年度支援団体数　27 団体

（内訳　ＰＴＡ10 団体　学校支援地域本部 2 団体　自主活動団体 15 団体）

うち保育付講座 11 講座　参加者数　1,378 人

講演会・学習会のテーマ

小学校ＰＴＡ	子どもを伸ばしたい その時大人にできること
	子育てが楽しくなるコーチング
	子どもと上手にコミュニケーションをとるには
	子どもの心を育てる
	小学生が身につけたい金融リテラシー
	古典落語に学ぶ親子関係　ほか
中学校ＰＴＡ	思春期をよりよく過ごすために 親だからできることは
	悩み多い思春期をどう乗り切るか
学校支援地域本部	学んで守ろう！子どもの安全（LINE 体験）
	子どものネット依存 現状と予防
自主活動団体	私の子育て 大丈夫？
	子どもと子育て家族がしあわせに暮らせる環境づくり
	子どもの育ちの環境 親と地域の中で子どもは成長する
	親子で磨こう 五感と感性
	子どもがヤル気になりだす時とは？
	思春期における発達障がい児のソーシャルスキル
	子育てに役立つカラー効果

子どもたちに「障がい」をどう説明しますか？
保育園の今＠大田区
「ほぉー」「へぇー」がつなぐ絵本の世界
中学生とナニ話す？
発達障がい者の一人暮らし 経済的自立をするために
家庭ですすめるキャリア教育
知的障害を考える
健常児の親が理解していく「障がい」ってなに？

団体募集時期に実践発表・事業説明会を開催　20 団体参加
『平成 25 年度大田区家庭・地域教育力向上支援事業の記録』発行　120 部

② 家庭教育学習会（平成 22 年度より実施）

・目　的　　「おおた教育振興プラン 2014」に基づき、保護者を対象とした家庭教育学習会を実施し、家庭の教育力の向上を支援する。
・対　象　　次年度区立小学校入学予定児童の保護者
・実　績　　平成 26 年度
『家庭教育リーフレット』発行　6,500 部
夏期　小学校 4 校を会場にして実施
「小学校ってどんなところ？そうだ！親子で学校へ行こう」
参加者数　142 人　子ども教室（年長児対象）133 人　保育 46 人
冬期　区施設 1 会場で実施
「いま知りたい！入学後の見守り方」
参加者数　66 人　子ども教室（年長児対象）25 人　保育 4 人

③ ＰＴＡ研修会

・目　的　　区立学校のＰＴＡ会員がＰＴＡの基礎知識を学び、児童・生徒の健全育成をめざしたＰＴＡ活動をより充実させる担い手となるための研修会を実施する。実施にあたっては、大田区立小学校連絡協議会及び大田区立中学校連合協議会と連携する。
・対　象　　大田区立小学校・中学校ＰＴＡ会員
・実　績　　平成 26 年度
『ＰＴＡのしおり』発行　10,200 部
小学校ＰＴＡ研修会　1 回
「子どもや学校を素敵にする PTA の力」　参加者数 234 人
中学校ＰＴＡ研修会　日帰り研修会 1 回
「神奈川大学横浜キャンパス・久里浜少年院・横須賀刑務所見学」参加者数 61 人
伊豆高原学園視察（小学校 PTA 役員対象）　参加者数 83 人

3　学校開放

区立小学校・中学校の体育館、校庭、会議室などを社会教育その他公共のために活用することにより、区民の学習、文化及びスポーツなどの地域活動の振興を図る。

（1）　学校施設の地域開放

・目　的　　区民の学習・文化・スポーツ活動のために、学校教育に支障のない範囲で、小・中学校の校庭や体育館、特別教室、生涯学習兼地域集会室など学校施設の開放を促進している。

・対　象　　5名以上で構成する区内在住・在勤・在学の団体
［根拠：大田区立学校施設の活用に関する条例・大田区立学校施設の活用に関する条例施行規則･同実施要綱］

・実　績　　（平成26年度）

施設別	回数（回）	人員（人）
小学校計	31,830	1,359,113
中学校計	13,458	409,363
総　　計	45,288	1,768,476

（2）　学校開放事業

①　校庭等開放

・目　的　　子どもの健全育成と余暇の善用に役立つよう、小学校の校庭等を開放し、自由で安全な遊び場を提供する。
・対　象　　小学校の通学区域の児童・幼児とその保護者
［根拠 ： 大田区校庭等開放実施要綱・大田区校庭等開放実施要領］
・実　績　　平成26年度　実施校　56校　延日数　2,800日　　延利用者数　88,716人

②　行事開放

・目　的　　児童の健全な育成と余暇の善用を図るため、スポーツ及びレクリエーションの場として小学校の校庭・体育館を開放する。
・対　象　　当該小学校の児童　　　　　　　　　　［根拠：大田区行事開放実施要綱］
・実　績　　平成26年度　実施校　54校、延べ日数　3,156日、延べ利用者数　73,462人

③　スポーツ開放

・目　的　　地域住民の余暇の善用と体力づくりを図るため、小学校の体育館を開放しスポーツ活動の場を提供する。
・対　象　　小学生以上の区内在住・在勤者　［根拠：大田区学校体育館スポーツ開放実施要綱］
・実　績　　平成26度　実施校　29校　延日数　713日　　延利用者数　13,752人

4　小学校における放課後児童の居場所づくり

児童の健全育成の場として、区立小学校施設を活用した放課後児童の居場所づくりを推進している。

居場所づくりにあたっては、学童保育事業及び放課後子ども教室事業を一体的に実施し、その名称を「放課後ひろば」とした。

なお、学校施設の状況等により放課後子ども教室事業を先行して実施している学校がある。

（1）　放課後子ども教室

・目　的　　区立小学校の施設を活用して、児童の安全・安心な居場所を確保するとともに、多様な体験・活動を通じて自主性や社会性を育む。

・対　象　　当該小学校の全児童

・実施校

放課後ひろば 14 校

実施施設
中富小学校
徳持小学校
調布大塚小学校
嶺町小学校
洗足池小学校
都南小学校
矢口東小学校
道塚小学校
＊梅田小学校
＊松仙小学校
＊羽田小学校
＊萩中小学校
＊西六郷小学校
＊新宿小学校

放課後子ども教室事業を単独で実施 ９校

実施施設
大森第三小学校
大森東小学校
馬込第二小学校
東調布第三小学校
小池小学校
赤松小学校
東糀谷小学校
六郷小学校
仲六郷小学校

（注１）嶺町小学校の放課後子ども教室事業は、平成 27 年 10 月 5 日より実施

（注２）＊は「おおたっ子ひろば」において実施

５　図書館

（１）　図書館の概要

図書館は、図書館法に基づき、区民ニーズに対応した資料や情報を提供し、区民の学習や文化活動など社会教育の充実を図ることを目的としている。

大田区立図書館は現在 16 館体制で運営している。平成 13 年には、区立図書館との共通利用ができる図書館同種施設として大田文化の森情報館が開館し、平成 23 年 3 月には、改築のため休館していた入新井図書館が民間事業者ビル（大森複合施設ビル）4 階に開館した。

また、大田図書館を除いた地域図書館には、平成 19 年度から指定管理者制度を導入している。指定管理期間を第 1 期は 3 年、第 2 期以降は安定的な運営を図るため 5 年とし、平成 26 年度には 27 年度からの第 3 期指定管理者を指定した。

平成 20 年度から、更なる利用者サービスの向上のため、インターネット資料・検索予約サービスを開始した。平成 24 年度には、図書館電算システムの機器更新を行い、インターネットからの予約サービスの向上を図った。平成 26 年度には、インターネットからの予約は受付総数の 73.8%となった。

［図書館施設の概要］

図書館名	所　在　地	電　話	床面積（㎡）	開館年月	座席数
大　　田	田園調布南 25-1	3758-3051	2,151	昭和 45 年 6 月	296
大 森 南	大森南 1-17-7	3744-8411	1,199	昭和 51 年 11 月	145
大 森 東	大森東 1-31-3-104	3763-9681	1,250	昭和 57 年 5 月	161
大 森 西	大森西 5-2-13	3763-1191	1,201	昭和 61 年 8 月	140
入 新 井	大森北 1-10-14	3763-3633	1,015	昭和 49 年 8 月 平成 23 年 3 月移転	140
馬　　込	中馬込 2-26-10	3775-5401	1,608	昭和 46 年 5 月	308
池　　上	池上 3-27-6	3752-3341	1,050	昭和 31 年 6 月 昭和 63 年 4 月移転	102
久 が 原	久が原 2-28-4	3753-3343	1,200	昭和 59 年 10 月	206
洗 足 池	南千束 2-2-10	3726-0401	1,254	昭和 35 年 3 月 平成 8 年 7 月改築	201
浜　　竹	西糀谷 3-32-7	3741-1185	984	昭和 46 年 8 月 平成 15 年 10 月移築	123
羽　　田	羽田 1-11-1	3745-3221	1,300	平成 6 年 12 月	185
六　　郷	南六郷 3-10-1	3732-4445	1,267	昭和 47 年 11 月	178
下 丸 子※	下丸子 2-18-11	3759-2454	1,764	昭和 50 年 9 月	238
多 摩 川	多摩川 2-24-63	3756-1251	1,211	昭和 58 年 8 月	187
蒲　　田	東蒲田 1-19-22	3738-2459	1,259	昭和 35 年 3 月 平成 3 年 10 月移築	169
蒲田駅前	蒲田 5-13-26-301	3736-0131	1,710	昭和 56 年 4 月	193
				計	2,972

※耐震工事のため、27 年 5～12 月（予定）は下丸子 4-6-16 に仮移転

［休館日・開館時間］

図書館名	休館日	開館時間
大田・大森東・入新井・池上・洗足池・浜竹・多摩川・蒲田	第２木曜日	午前 9 時～午後 7 時 ＊　入新井 午前 9 時～午後 8 時
大森南・大森西・馬込・久が原・羽田・六郷・下丸子・蒲田駅前	第３木曜日	午前 9 時～午後 7 時 ＊　蒲田駅前 午前 9 時～午後 8 時

※休館日が祝日の場合はその翌日が休館日となる。

《　全館共通休館日　》　年末年始 12 月 29 日～翌年の１月３日
《　特別整理期間　》　各館　年間７日以内　（大田図書館は 10 日以内）

（２）　図書館の事業

①　資料数

区内全域に施設配置を進め、資料提供の充実を図ってきた。平成 14 年度からは、図書資料の選定を各館選書方式から集中選書方式に改め、大田区全館の図書資料選択を一元化して行うようになった。現在、区立図書館の蔵書は 181 万冊を越えている。

各館別資料数（平成 26 年度）

図書館名	図書		視聴覚資料		
	一　般 （冊）	児　童 （冊）	ＣＤ (ﾀｲﾄﾙ)	ｶｾｯﾄﾃｰﾌﾟ (ﾀｲﾄﾙ)	ﾋﾞﾃﾞｵﾃｰﾌﾟ (ﾀｲﾄﾙ)
大　　田	207,281	46,698	4,770	935	294
大　森　南	76,058	22,999	5,869	2,386	135
大　森　東	72,659	18,207	5,054	1,276	64
大　森　西	75,123	20,479	5,563	1,545	85
入　新　井	67,091	21,984	4,543	0	150
馬　　込	93,968	21,199	5,901	188	154
池　　上	84,821	23,742	5,042	407	132
久　が　原	65,394	21,736	4,780	268	125
洗　足　池	94,326	22,367	4,224	5	648
浜　　竹	69,078	20,086	5,222	681	1
羽　　田	87,477	33,285	5,547	536	687
六　　郷	64,273	19,478	4,027	345	94
下　丸　子	99,422	43,321	5,136	5,694	1
多　摩　川	68,000	21,229	3,040	598	111
蒲　　田	81,146	21,698	17,343	811	896
蒲田駅前	96,290	31,941	5,748	467	166
図書館合計	1,402,407	410,449	91,809	16,142	3,743
大田文化の森 情報館（※）	66,579	20,168	4,982	0	1
総合計	1,468,986	430,617	96,791	16,142	3,744

（※）　大田文化の森情報館は観光・国際都市部が管理する図書館同種施設である。

②　貸出し

年間貸出総数は図書 501 万冊、視聴覚資料 47 万点を越えている。「共通かしだしカード」は、大田区立図書館全館で共通に使用でき、貸出期間は２週間以内である。また、貸出数は平成 18 年 12 月より全館で図書・雑誌 12 冊、視聴覚資料６点までに拡大した。

・対　象　　区内居住者又は大田区に通勤、通学先がある者
・実施方法　　住所を確認できるもの（運転免許証、健康保険証、学生証など）を持参し、貸出申込書を提出のうえ利用者登録する。登録した利用者には「共通かしだしカード」を交付する。中学生以下は、父母等の保証人の署名が必要である。

各館別貸出状況（平成 26 年度）

図書館名	登録者数			貸出冊数		
	社会人・学生	児　童	合　計	社会人・学生	児　童	合　計
大　田	12,706	1,733	14,439	386,599	82,329	468,928
大森南	3,989	1,145	5,134	112,319	39,422	151,741
大森東	4,477	661	5,138	118,061	18,212	136,273
大森西	6,609	1,406	8,015	168,740	49,599	218,339
入新井	13,990	2,423	16,413	405,697	98,015	503,712
馬　込	9,156	1,156	10,312	229,146	43,168	272,314
池　上	9,489	1,508	10,997	328,976	61,962	390,938
久が原	8,197	1,634	9,831	292,171	70,930	363,101
洗足池	18,413	2,773	21,186	496,341	100,207	596,548
浜　竹	5,628	1,241	6,869	192,443	47,426	239,869
羽　田	6,175	927	7,102	165,237	30,418	195,655
六　郷	5,662	1,389	7,051	187,508	46,750	234,258
下丸子	8,577	1,962	10,539	340,313	84,643	424,956
多摩川	6,272	1,430	7,702	204,817	45,101	249,918
蒲　田	5,237	821	6,058	167,693	31,043	198,736
蒲田駅前	16,643	1,351	17,994	331,465	35,284	366,749
図書館合計	141,220	23,560	164,780	4,127,526	884,509	5,012,035
大田文化の森情報館	9,886	2,421	12,307	302,477	76,452	378,929
総合計	151,106	25,981	177,087	4,430,003	960,961	5,390,964

図書館名	視聴覚資料		
	CD 貸出数	ｶｾｯﾄ貸出数	ﾋﾞﾃﾞｵ貸出数
大　田	35,350	767	0
大森南	16,254	434	1
大森東	17,558	1,261	0
大森西	21,869	1,027	0
入新井	47,375	144	0
馬　込	29,853	137	4
池　上	30,176	633	2
久が原	27,448	161	0
洗足池	47,687	617	12
浜　竹	22,808	427	2
羽　田	21,504	459	2
六　郷	21,637	384	1
下丸子	33,019	439	0
多摩川	27,168	662	2
蒲　田	23,399	332	1
蒲田駅前	44,811	386	1
図書館合計	467,916	8,270	28
大田文化の森情報館	36,326	211	0
総合計	504,242	8,481	28

③　予約・リクエスト

希望の資料が貸出中の場合は「予約」として受け、所蔵していない場合は、「リクエスト」として受け付けている。所蔵していない資料は、都立図書館や他区市の図書館から借用したり、購入するなどしてできる限り利用者に提供している。

・対　象　　登録利用者

・実施方法　　館内では、予約・リクエストカード等により受け付けている。又、インターネット及び館内利用者端末から区内に所蔵のある資料に限り、利用者自身でも予約できる。電話・FAX による受け付けもしている。

インターネットからは、22 年度 850,551 件（全体の 64.4％）、23 年度 1,003,264 件（全体の 67.8％）、24 年度 1,062,559 件（全体の 70.4％）、25年度1,152,319件(全体の72.3%)、26年度 1,190,598件(全体の73.8%)、の予約があった。

④　参考調査（レファレンス）

必要な図書や資料を探したり関連する情報を提供している。書架案内、端末での検索のほか、参考資料等を活用してできる限り利用者の調査の援助や資料による回答を行っている。

・対　象　　図書館利用者

・実施方法　　カウンターでの直接依頼のほか、電話や手紙などによる問い合わせにも応じている。回答は、口頭、電話又は文書で行う。

各館別予約・レファレンス件数（平成 26 年度）

図書館名	予約件数	ﾚﾌｧﾚﾝｽ件数
大　田	148,279	11,168
大森南	30,232	1,397
大森東	37,279	3,778
大森西	50,167	2,944
入新井	169,518	8,724
馬　込	96,554	6,085
池　上	106,943	6,135
久が原	114,702	4,162
洗足池	194,186	12,546
浜　竹	53,548	3,589

図書館名	予約件数	ﾚﾌｧﾚﾝｽ件数
羽　田	45,023	4,780
六　郷	60,991	4,016
下丸子	144,529	10,639
多摩川	66,374	4,289
蒲　田	49,742	2,682
蒲田駅前	143,033	3,887
図書館合計	1,511,100	90,821
大田文化の森情報館	101,831	8,716
総合計	1,612,931	99,537

⑤　児童サービス

子どもと本のより良い結びつきを作り出し、子どもが自主的に読書活動ができるよう、様々な児童サービスを行っている。児童用の図書のほか、絵本や紙芝居なども貸し出している。

ア 学校貸出し

区内の小・中学校に対して、学級単位や学年単位、あるいは学校図書館に児童書を長期に貸し出している。

イ 総合学習への協力

「調べ学習」での利用には、図書館での資料の探し方などについて説明している。ま

た、施設見学、職場訪問、職場体験を受け入れている。

ウ　集会行事

各図書館で子ども向け行事やおはなし会、子ども会、映画会などを定期的に行っている。

各館別集会行事回数（平成 26 年度）

図書館名	実施回数	参加人数（延人数）
大　田	45	979
大森南	80	2,292
大森東	119	1,895
大森西	145	2,184
入新井	126	4,924
馬　込	54	1,269
池　上	59	1,543
久が原	59	1,138
洗足池	51	853
浜　竹	77	1,047

図書館名	実施回数	参加人数（延人数）
羽　田	113	1,829
六　郷	92	1,799
下丸子	62	1,019
多摩川	88	2,007
蒲　田	73	1,123
蒲田駅前	87	1,271
図書館合計	1,330	27,172
大田文化の森情報館	0	0
総合計	1,330	27,172

⑥　障がい者サービス

体の不自由な方の読書ニーズに、的確に応えることを目的とする。

体の不自由な方が図書館を利用される場合の貸出数は、図書・雑誌 12 冊、視聴覚資料 10 点まで、期間は 1 か月以内である。

ア 宅　配

区内在住で来館できない方のために、図書やＣＤ・カセットテープを自宅まで届けている（全館で実施）。

イ 郵　送

宅配のほか録音図書・録音雑誌を郵便で送付している（大田、大森南、大森東、大森西、馬込、下丸子、蒲田駅前）。

ウ 対面朗読

目の不自由な方のために対面朗読室でご希望の図書を朗読している（大田、大森南、大森東、大森西、入新井、馬込、久が原、洗足池、浜竹、羽田、下丸子、多摩川、蒲田、蒲田駅前）。

エ 録音図書の作製、貸出し

希望の図書を録音し貸し出している（大田、大森南、大森東、大森西、馬込、下丸子、蒲田駅前）。

オ 大型活字本の貸出し

視力の弱い方のために作られた大きな活字の図書を全館に備えている。

障がい者サービス状況（平成 26 年度）

図書館名	障がい者サービス			
	宅配（ﾀｲﾄﾙ）	郵送（ﾀｲﾄﾙ）	対面朗読（回数）	録音図書作製（ﾀｲﾄﾙ）
大　田	34	448	21	5
大森南	0	216	0	0
大森東	131	141	106	3
大森西	61	152	0	0

入新井	238	0	15	0
馬　込	10	557	0	0
池　上	114	0	0	0
久が原	107	0	11	0
洗足池	57	0	23	0
浜　竹	111	0	12	0
羽　田	114	0	62	0
六　郷	32	40	0	0
下丸子	110	1,182	124	4
多摩川	211	0	0	0
蒲　田	24	0	0	0
蒲田駅前	0	1,580	4	0
図書館合計	1,354	4,316	378	12
大田文化の森情報館	—	—	—	—
総合計	1,354	4,316	378	12

⑦　団体貸出し

10 人以上のグループに図書を 1 回 100 点、貸出期間は 1 か月以内である。

・対象団体　　館長が適当と認めた読書グループ、社会教育関係団体。

・実施方法　　団体の代表者の住所を確認できるものを持参し、団体貸出申込書を提出のうえ登録する。登録した団体には「団体貸出券」を交付する。

団体貸出利用状況（平成 26 年度）

図書館名	貸出団体数	貸出冊数
大　田	28	3,840
大森南	23	6,275
大森東	25	3,189
大森西	14	3,815
入新井	24	4,695
馬　込	23	2,126
池　上	23	4,990
久が原	23	4,802
洗足池	27	4,188
浜　竹	17	2,510

図書館名	貸出団体数	貸出冊数
羽　田	15	4,090
六　郷	39	3,358
下丸子	16	2,769
多摩川	27	4,853
蒲　田	26	3,992
蒲田駅前	20	3,025
図書館合計	370	62,517
大田文化の森情報館	—	—
総合計	370	62,517

⑧　ボランティア養成

地域のボランティア活動を支援するとともに、子どもに対する読み聞かせや対面朗読・録音図書作製を担う音訳者などを養成するため、ボランティア講座を開催している。

ア 読み聞かせボランティア講座

・対　象　　図書館で読み聞かせボランティアとして活動できる区内在住者

平成 25 年度実績　　講演会　　1 回　　　　　参加者　53 人

初級講座　3 日×3 回　　　　参加者　延べ 151 人

ステップアップ講座　3 日×2 回　参加者　延べ 128 人

平成 26 年度実績　講演会　1 回　参加者　35 人
初級講座　3 日×3 回　参加者　延べ 193 人
ステップアップ講座　3 日×2 回　参加者　延べ　94 人
平成 27 年度予定　講演会　1 回　定員　100 人
初級講座　3 日×3 回　定員　90 人（各 30 人）
ステップアップ講座　3 日×2 回　定員　60 人（各 30 人）

イ 音訳者現任講座

・対　象　図書館で音訳ボランティアとして活動している区内在住者
平成 25 年度実績　現任講座　5 日×1 回　参加者　延べ 61 人
平成 26 年度実績　現任講座　5 日×1 回　参加者　延べ 49 人
平成 27 年度予定　現任講座　5 日×1 回　定員　30 人

⑨　集会室・多目的室の利用

集会室は、馬込、六郷図書館に設置している。社会教育関係団体が無料で使用できる。
多目的室は、大森南、大森西、久が原、洗足池、羽田、下丸子（仮庁舎では利用を休止）、多摩川、蒲田図書館に設置している。公益的・公共的団体等が実費相当額で使用できる。読書会等図書館と関係のある行事を行う場合は無料で使用できる。

⑩　図書館利用者用インターネット接続環境の整備

平成 26 年度に、利用者用インターネット端末の全館配備を完了し、図書館内で出版物では補えない情報を都や国などのホームページから取得できる環境を整備した。インターネットの情報検索や有料データベース（朝日新聞「聞蔵Ⅱビジュアル」、第一法規「D1-Law.com」）の閲覧サービスを利用できる。
平成 27 年度は、より多くの図書館利用者にインターネット接続環境を提供するために、全館に公衆無線 LAN アクセスポイントを設置する。

⑪　学校図書館支援事業

平成 21 年度から、学校図書館のさらなる充実と利用の拡大を図るため、司書等の専門的な視点から活動を支援する学校図書館支援事業の試行を小中学校各1校において開始した。平成 23 年度からは小中学校各 2 校、平成 26 年度は小学校 7 校、中学校 4 校に実施校を拡充した。
平成 27 年度からは、大田区立図書館全 16 図書館で、区内小・中学校全 87 校に対して学校図書館支援サービスを開始する。

・目的　学校図書館の利用促進と児童生徒の読書活動の推進を図るため、また、学校図書館が学校と地域ボランティアが連携し、「児童・生徒が積極的に利用する魅力ある学校図書館」として整備され、円滑に運営されるため。
・支援内容　「図書と図書館の案内・利用支援」
「授業や学校行事での学校図書館資料の活用支援」
「蔵書点検やデータ修正などの学校図書館整備支援」等

６　文化財保護

文化財は、人間と自然が残した文化的遺産で、歴史的・芸術的観点から優れた価値を有する有形の財、無形の技・芸である。これらは、今日の歴史・文化の理解を促進し、将来の文化を発展させる区民共有の貴重な財産であると言える。

現在、大田区には、文化財保護法や都・区の文化財保護条例に基づき、180 件以上の文化財が指定・登録されている。亀甲山古墳や本門寺五重塔などの国指定文化財をはじめ、多摩川台古墳群などが都指定文化財、六郷神社獅子舞などが区指定文化財、このほか茅葺民家の山﨑家住宅や近代建築の鳳凰閣（旧清明文庫）などの建造物が、国登録文化財となっている。

文化財を保護保存し、将来へ伝えるため、年次計画に基づく文化財調査を実施し、その成果をもとに調査報告書などの文化財資料の作成や講演会、見学会の開催などを行い、普及に努めている。さらに区指定文化財については、「大田区文化財保存事業費補助金交付要綱」(平成９年４月１日施行)に基づき、補助金を交付している。

また埋蔵文化財については、文化財保護法に基づき、遺跡の範囲や分布状況を周知し、遺跡の現状を変更する場合には、記録保存のための発掘調査を実施している。

（１）　文化財保護審議会

文化財に関し広くかつ高い識見を有する学識経験者を委員に委嘱し、大田区の文化財の保存・活用に関する事項を審議している。現在 8 名で審議会を構成し、平成 26 年度は審議会を 1 回開催した。

（２）　文化財資料の作成

文化財調査に基づく基礎資料の充実を図るとともに、刊行物やパンフレット・啓発用冊子などを発行している。平成 26 年度は以下の資料を作成した。

①　『久ヶ原遺跡Ⅴ 山王遺跡Ⅴ 下沼部貝塚Ⅱ 発掘調査報告書』

「大田区の埋蔵文化財」シリーズの第 22 集として刊行した。

②　パンフレット「ぶんかざいおおた」第 17 号

（３）　文化財保護の啓発・普及

地域の文化財や歴史を知り、身近に親しんでいただくとともに、文化財の保護・保存・活用に対する理解と関心を深めていただくため、各種の事業を開催した。

また、区指定文化財には、文化財の特色を記した標識板を設置し、管理している。

①　史跡めぐり「萩中地区－もう一つの寺町－」

萩中一丁目と本羽田一丁目の寺院を中心にめぐり、通常非公開の区指定文化財も見学した。

日時　　5 月 27 日(火)

講師　　岸本 昌良氏（地域史研究家）、西 光三氏(地域史研究家・板橋区公文書館)

参加者　53 人

②　文化財講演会「接客装置としての住まい－日本近代住宅の魅力－」

大正から昭和にかけて建てられた住宅や茶室等の魅力について、講演会を開催した。

日時　　10 月 26 日（日）

講師　　大川 三雄氏（日本大学教授・区文化財保護審議会委員）

参加者　41 人

③　文化財標識板の取替

件数　　7 件

内訳　「日朗聖人坐像」「日輪聖人坐像」「柄香炉」「天海版一切経」「紺紙金泥法華経」「池上本門寺文書」「梵鐘」（池上本門寺所在）

④　写真パネル展

平成25年度の文化財に関する主な事業を、写真パネルや解説により、区役所本庁舎ロビーにおいて10月24日（金）から30日（木）にかけて紹介した。

（4）　文化財調査

①　文化財調査

ア　国登録文化財整備事業、現地確認：鳳凰閣（旧清明文庫）
イ　登録文化財進達関係、現地確認および所見作成：御嶽神社関係3件ほか
ウ　祭り・行事関係：祭礼等催行状況調査、祭囃子の現状確認

②　埋蔵文化財調査

遺跡への影響がある住宅などを建築する場合、埋蔵文化財調査を行う。発掘調査の調査費用は、個人住宅等については公費で負担しており、それ以外は各事業主が負担している。発掘調査完了後は調査報告書を刊行し、出土品は郷土博物館において郷土の文化遺産として展示し、活用を図っている。

ア　埋蔵文化財発掘届相談件数　3,859件（電話 3,391件　FAX 192件　来庁 276件）
イ　埋蔵文化財調査
・個人住宅等（国庫補助金事業対象）
　試掘調査　　1件（久ヶ原遺跡 久ヶ原四丁目23番 本発掘調査が必要となった）
　本発掘調査　1件（久ヶ原遺跡 久ヶ原四丁目23番）
　確認調査（地中レーダー探査）　1件（多摩川台公園内横穴墓　田園調布一丁目63番）
・集合住宅等
　試掘調査　　1件（山王遺跡および大森ホテル遺跡　山王三丁目33番）
ウ　埋蔵文化財発掘届出　104件

（5）　文化財保存補助事業

①　東京都指定文化財

今泉延命寺双盤講用具整備

②　大田区指定文化財

六郷神社獅子舞道具整備（中踊りの「ひょっとこ面」の模刻）

（6）　文化財の保存・活用等

①　国登録有形文化財「鳳凰閣（旧清明文庫）」の保存・活用・整備の推進

登録有形文化財である既存建物を活用した都市公園施設として、おおた未来プラン10年（後期）、おおた教育振興プラン 2014、公共施設整備計画の方針に従い、保存、活用、整備を推進している。

②　区指定文化財の管理状況調査の実施

区指定文化財119件のうち105件を対象に、所有者変更の有無、指定書の有無、保存状況の現状、防犯・防火対策等を調査した。

③　重要無形文化財（人間国宝）の指定、認定

文部科学省により、重要無形文化財として「刀剣研磨」技術の指定と、区在住者がその保持者として認定された。

④　区指定文化財、国登録文化財の現状変更等

維持管理に関し課題があり、現状確認後に現状変更等を進める予定である。

国登録文化財関係　「鈴木家住宅主屋」（昭和初期建築）
　　　　　　　　　「加藤家住宅主屋」（大正13年建築）